
恩師への手紙

たけ10005

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恩師への手紙

【Nコード】

N3838F

【作者名】

たけ10005

【あらすじ】

私の絵の師匠、I先生のために書いた実話です。拙作”翼”の表紙絵、裏表紙絵を描いたきっかけの絵描き目指してた時の話。

僕が恩師と出会ったのは、専門学校だった。

今回は経歴を語ってから哲学をしようと思う。お礼も言いたいしね。

人によって、学校だったり職場だったりするだろうけど、僕は新聞奨学生やって入ったゲーム専門学校のグラフィック科だ。

先生…つまり師匠が”好きなことをやって生活する。それを表現してる”と感じたのは、なぜか初めてだった。教師は皆好きでやってるのに。

それだけパワーあふれる先生だった。絵描き専門じゃないけど、プロレスやって腕壊したらどうするんだろうと、今初めてこの本心を口にする。僕が人をそこまで心配するのも珍しいけどね。

僕は反抗はしないタイプだけど、ゲーム関連では譲れないものがある。自分でも驚きだけど。

プログラムや音楽のフリーソフトを使って、シナリオとCGを自作したゲームがある。

実は僕の小説”夕焼けに散る花”だ。戦闘に関する行動を二択で選ぶもので、ランダム性のある微妙な選択肢を除いても、戦闘センスを問われる難易度の高いゲームだ。

しかし、CGはともかく、絶望的に高嶺の花の”原画”という”CGの下絵”とか、シナリオは、やってたら就職に響くと注意されながら、制作を続けた。

僕は後悔してないけど、気にかけてくれた先生には申し訳ないと思ってる。

そもそも先生が僕を気にかけてくれたのは、先生が僕達CG科の授

業に顔を出した時、3Dの色つけの技術を2D…つまりイラストに
応用して、かつ良い仕上がりだったからだそうで、先生の授業は専
攻してなかったけど、友達の紹介で正式に知り合った。

僕にとって人生最高の、宝石のような一瞬だ。この話も、宝石箱み
たいな気分

僕が絵を描けなった時…ゲーム業界もアニメ業界も無理になった今
もメールを返してくれる。。。
そんなに嬉しいことは無い…。

先生はTシャツのデザインもして、多才だなあと思ってる。かとい
って、お調子者なわけでなし。

ただカツコイい生き様だなあ…と思う。

僕の小説”心を見る”の主人公のように僕は泳がなかったのだろう。
人生を歩く気がなかった。つまりはそういうことだ。

なんでだろう？こんなにも無気力なのは…多分、気取ってるのだろ
う。甘えてるのだろう。

人は僕を屁理屈だと言うけど、理屈で理由付けして地面に根を生や
して動かない。その手の人間なだけ。

失敗が怖い。人生の失敗はハイリスクだ。だから動かない。ある種
の戦法だが、そりゃ実績ある人の言うセリフかな？

だから先生は凄い。

せめて僕に期待通りの立場があればと思いつつ、筆を置いたのは絵
に飽きたのではなく、他の生きるための道を探してる結果。

将来の保証もなく、しかし暇はあるので、小説をかじったのだけど、
意外にハマってる（笑

いつか何かのプロになったら、先生の元に行きたいと思う。

先生、これからもよろしくお願いします

（後書き）

先生へのメッセージと若い人に一期一会と歩み方を語りたく公表しました。

ここまで読んでくださり、ありがとうございます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3838f/>

恩師への手紙

2010年10月22日01時52分発行